

仙台市ツキノワグマ被害防止対策パッケージ

総額：390,855千円

- ✓関係局区連携による総合的な対策パッケージを策定。
- ✓緊急性の高い取り組みから予算を配分し、市民の安全安心な暮らしを守る取り組みを実施。

緊急的な対応

(現行予算及び予備費で対応)

総額：160,354千円

現行予算 30,888千円

予備費 129,466千円

～秋の出没増から「今」身を守る緊急対策～

- 1 誘因木の伐採・見通しの確保 110,466千円
✓公園・河川など公管理地の誘因木伐採・藪の刈払い等および管理困難な民有地ハイリスク誘因木の行政伐採 110,466千円【環境局・建設局・宮城総合支所・太白区・泉区】
- 2 侵入防止対策 800千円
✓仮設電気柵設置 800千円【環境局】
- 3 パトロールや注意喚起 8,348千円
✓E Vスクーター 2,624千円【環境局】
✓パトロール(学校周辺車両巡回) 3,524千円【教育局】
✓身を守る対策周知の新聞広告 2,200千円【総務局・環境局】
- 4 対策物資拡充等 36,882千円
✓防護グッズ(クマ鈴、クマ忌避剤、防護服等) 23,620千円【経済局・建設局・教育局・青葉区・宮城総合支所・宮城野区・秋保総合支所・泉区】
✓対策備品・資機材等(センサーカメラ、車両、チェーンソー、広報用スピーカー、注意看板、箱わな等) 13,262千円【建設局・青葉区・宮城総合支所・宮城野区・太白区・秋保総合支所・泉区】
- 5 農業被害対策 3,858千円
✓実施隊への遭遇回避グッズ(花火等) 3,858千円【経済局】
✓実施隊員の報酬改善(人件費対応)【経済局】
- 6 緊急時の体制強化
✓緊急銃猟等に係る実施隊員の報酬改善(人件費対応)【環境局】

短期的な取り組み

(12月補正で対応)

総額：230,501千円

～冬から春の「出会い頭」被害を防ぐ安全対策～

- 1 誘因木の伐採・見通しの確保 201,354千円
✓公園・河川など公管理地の誘因木伐採・藪の刈払い等および管理困難な民有地ハイリスク誘因木の行政伐採 201,354千円【環境局・経済局・建設局・教育局・青葉区・太白区・秋保総合支所・泉区】
- 2 侵入防止対策 7,800千円
✓電気柵設置 7,800千円【環境局・建設局】
- 3 パトロールや注意喚起 6,292千円
✓パトロール(学校周辺車両巡回) 6,292千円【教育局】
- 4 対策物資拡充等 9,195千円
✓防護グッズ(クマ鈴、クマ忌避剤等) 8,945千円【健康福祉局・建設局・教育局・太白区・秋保総合支所】
✓広報・緊急対応・草刈等対応車両用燃料費 250千円【青葉区・太白区・秋保総合支所】
- 5 農業被害対策 5,860千円
✓クマ追い払い装置購入支援 2,860千円【経済局】
✓耕作放棄地等刈払い支援 3,000千円【経済局】

中期的な取り組み

(国対策等を踏まえ、今後方向性を検討の上、対応)

～今後を見据えた被害を防ぐ地域づくり～

- 1 身を守る対策の周知(情報発信・パトロール等)
✓(情報発信) 出沒情報発信の迅速化【環境局・各区・支所】
✓パトロール(学校周辺車両巡回)【教育局】
- 2 すみ分けの推進(出沒抑制)
✓(面的支援) 調査や合意形成などを通じて地域一帯での効果的な取り組みを促進【環境局・各区・支所】
✓(誘因木伐採) 誘因リスクが高く管理者による管理が困難な民地の誘因木を伐採【環境局・各区・支所】
✓(公有地管理) 誘因リスクが高い公有地の誘因木伐採や藪の刈払い【各局】
✓(ICT活用) 追い払いを視野に入れたICT活用の有効性検証【環境局・まちづくり政策局】
- 3 緊急時の体制強化(捕獲体制)
✓(人材育成) 職員や捕獲者の研修受講促進
✓(権限拡充) わなによる捕獲許可権限の移譲協議継続
✓(個体数管理) 県と連携した対策の実施

継続的な取り組み

平常時の啓発から緊急時の捕獲まで総合的な対策の推進(環境局・経済局・各区ほか。実施にあたっての宮城県警など関係機関との連携を含む)

- ・市ホームページ、市政だより、動画、啓発チラシ、パネル展示、クマ対策講座等による身を守る対策などの周知、クマ出沒情報マップによる出沒傾向発信、新技術情報収集
- ・出沒時の現場確認や広報車での呼びかけ、周辺の町内会や学校への注意喚起、メール配信サービスや市公式LINEでの通知
- ・必要に応じて専門事業者の侵入経路調査や具体的な誘引物除去の助言、被害防止のための箱わなや銃を用いた速やかな捕獲 など

宮城県ツキノワグマ総合緊急対策と連携した仙台市内の取り組み

県予算による仙台市内の取り組み

取組1 クマから「県民を守る」緊急対策

(1) 被害防止資材の市町村への配布

- ✓(花火等配布) 県より受領した花火等を各区へ配布
(爆竹310個・ロケット花火247個・ホイッスル191個・クマ鈴110個)。

(2) 出沒時対応のための資機材の配備

- ✓(箱わな貸与) 県より箱わなの貸与を受け、宮城野区に檻式1個、泉区にドラム缶式2個を配布。

(3) クマ出沒地域の見回りの強化

- ✓(見回り強化) 県の委託により、警備会社が青葉・泉区、太白区の2チーム体制で市内(八幡、大手町、岩切、熊ヶ根、八木山、上野山、根白石、寺岡、住吉台 等)を巡回。

(4) クマ出沒危険箇所対策

- ✓(誘因木伐採) 県の委託により、クマ誘因のリスクが高く、管理者による伐採が困難な民地の誘因木を伐採
(青葉区6本・泉区17本 計23本)。
- ✓(県河川刈払) 県の委託により、広瀬川流域の評定河原、大橋下流(市の希望)から刈払い開始。
- ✓(登山道等への看板) 県の委託により、自然公園等(秋保大滝パノラマのみち・二口溪谷清流山狭のみち)へ
看板設置予定

取組2 農林水産事業者の安全確保対策

(1) 農業者の安全確保対策

- ✓(センサーカメラ貸出) 県より貸与を受けたセンサーカメラを各区に配布
(青葉区3台、宮総3台、若林区1台、太白区5台、秋総3台、泉区1台)